

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	健康推進課
課名	市民生活課

予算	款	項	目	決算書
	4	1	1	124 頁

目名
保健衛生総務費

事務事業名称
地域医療推進事業

1. 概要

目的	地域医療の充実を図る	対象	市民病院 市内医療機関
事業概要	<p>○救急医療対策事業 病院群輪番制方式により行う休日小児科診療に対する補助[対象:市民病院、みやわき小児科] ・小児救急医療対策事業費補助金</p> <p>共同利用型病院方式により行う休日・夜間における救急医療に対する補助[対象:市民病院] ・救急医療施設運営事業費補助金</p> <p>○地域医療対策事業 ・病院事業特別会計補助金:204,338千円</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	救急医療対策事業	救急医療施設の運営費等を補助	負担補助交付金	31,848	31,846	21,126			10,720	3
経常	地域医療対策事業	市民病院への補助等	負担補助交付金	292,564	290,538			11,845	278,693	2
廃止										
経常	へき地患者輸送事業									
臨時	小児救急ハンドブック作成事業									
臨時	派遣医師研修支援事業									
臨時	患者・家族対話推進事業									
臨時	診療所改修事業									
臨時	統合病院施設・設備整備事業									
計				324,412	322,384	21,126	0	11,845	289,413	

2. 指標設定

成果指標	指標名	市内医療機関の受診率	目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	55%			総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-1-2)の目標としているため		
活動指標	指標	a 小児救急休日診療日数	b 休日時間外診療日数	c 救急搬送における市内への搬送率	d		
	数値	目標 —	目標 —	目標 50%以上	目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
市内医療機関の受診率	%	51.6 %	54.1 %	56.8 %
		93.8 %	98.4 %	103.3 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 小児救急休日診療日数		46 日	60 日	58 日
b 休日時間外診療日数		365 日	365 日	365 日
c 救急搬送における市内への搬送率	%	60 %	55 %	54 %
d		120 %	110 %	108 %

4. 課題と対応

課題
医師確保については引き続き取り組む必要がある
対応（改善点等）
大分大学や大分県と協議・連携をすすめ、市民病院への医師確保を図る

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

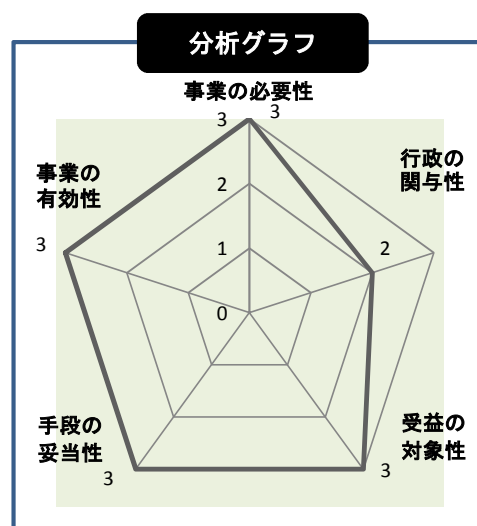
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		482,610	1,386,456	322,384	330,930
うち経常経費		225,451	299,843	312,375	330,714
財源内訳	国費				
	県費	41,211	498,262	21,126	26,131
	市債	75,300	554,800		
	その他	24	10,951	11,845	8,991
	一般財源	366,075	322,443	289,413	295,808
うち経常		225,225	285,326	289,404	295,808
事業費に係る人件費		5,120	5,256	1,290	1,288

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
引き続き医療機関の充実を図るため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 公立病院の経営安定と救急医療、小児救急を提供するため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間による医療の提供が可能であるが、充足していないため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民が利用する病院のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 公立病院の経営安定と救急医療、小児救急を提供するため適切である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 市内医療機関受診率が増加している



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	市民病院の健全経営に資するため適正な整備を実施し、併せて地域医療資源の充実を図ること。